



めざす学校像

「互いに認め合い、高め合う」いきいきと子どもが活躍できる学校
「一人ひとりを大切に、違いは宝物」誰にとっても安心・安全な学校
「学校・家庭・地域をひとつに」つながりあうことを大切にする学校



令和5年(2023年)10月3日発行・野畑花だよりは、野畑小学校のホームページでもご覧いただけます。https://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/nobatake/

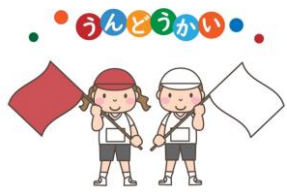
⑨ほたけしょうがっこうの子

⑩のびのびとすなおで元気

⑪バランスのとれた心と体

⑫たすけあう仲間

⑬けいぞくしてがんばる力



もうすぐ運動会です！

いよいよ運動会まで2週間となり、今週から本格的に練習が始まりました。週末から朝夕と涼しくなり、過ごしやすくなってきましたが、昼との温度差で体調を崩しやすくなっています。今年はいつまでも暑い日が続き、水分補給をこまめに入れながら練習を行っています。運動場での練習も長時間は出来なかつた

り、体育館で細かな動きをやって運動場では隊形移動だけに絞って練習したりと工夫しながら取り組んでいます。

年々運動会の練習を嫌がる児童が増えている気がします。理由として集団での行動が苦手、繰り返して練習するのがいや、めんどろ、しんどい…があげられます。学年の自分たちの演技だけでなく、紅白に分かれて他の学年も一生懸命に応援し、「やってよかった」「楽しかった」と思える体験になればと思います。今年度のテーマは「限界突破でLet's smile!!」です。当日は今まで練習した成果を出しきって「笑顔があふれる」運動会になりますように。

来週10月14日土曜日は、みんなの願いが通じて何とか運動会を開催することができたらと思います。当日は保護者の皆さまの温かい拍手とご声援をよろしく願いいたします。

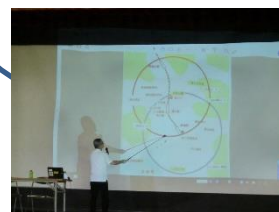


被爆体験の聞き取り(9/25) ~6年生~

「豊中原爆被爆者の会」の伊達さんと高橋さんから長崎での被爆体験について体育館でお話を聞きました。

ついさっきまでの日常が、たった一つの原爆で失われたこと、目の前で家族を亡くした悲しさ、焼け野原となった町の様子、原爆が投下されてから数日たって母親とお姉さんを相次いで亡くされた当時12歳の伊達さん、爆心地から4km離れたあたりで被爆された当時9歳だった高橋さんのお二人の具体的なお話は胸に迫るものがありました。

「日本は世界の中で、唯一の被爆国であるからこそできることを。」「その痛みや悲しみを繰り返してほしくないこと。」「世界には今12520発の核爆弾があること」「平和というのは、仲良く思いやりの心をもつこと。6年生のみなさんも核兵器をなくすためにどうしたらよいか考えてください。そして、伝えていってほしい。」とのお言葉が印象的でした。今年には戦後78年目の年でした。6年生は修学旅行を通して平和について学習を深めてきました。お二人のお話から多くのことを学んでいるようでした。6年生からはお礼の気持ちを込めて、「地球星歌」を歌いました。お二人から「みなさんの歌声から元気をもらいました。」と仰っていただきました。



インフルエンザ・新型コロナウイルスなどの感染症が流行し、ようやくピークは越えたようです。本校では9月9日から学級閉鎖が始まり、先週までにすべての学年にわたり9クラスが学級休業となりました。インフルエンザがほとんどですが、新型コロナウイルスでも2クラス学級休業になりました。

高熱がでるのが特徴です。特に週末発熱し、熱が下がったからと受診を控え無理して登校し、再度発熱してお迎えをお願いすることになってしまいます。登校すると感染力が強くいっきに広まっています。運動会での練習もあり、疲れがたまっている頃かと思えます。次のことを心がけてほしいと思います

- ①睡眠を十分にとる
- ②朝ごはんをしっかり食べる。
- ③手洗いうがいを徹底する。
- ④部屋の換気や加湿に心がける。



11月11日(土)50周年記念行事について

11月11日(土)1・2時間目は授業参観(オープン参観)とします。

3時間目から体育館にて「創立50周年の記念行事」を行います。(50周年記念行事実行委員会でのような内容にするか話し合い、進めてまいりました。)

当日の式典は体育館の収容人数の都合上、参加は児童と教職員、来賓のみとさせていただきます。児童の下校は12時頃を予定しています。

13日(月)は代日休業となります。
(放課後子どもクラブはあります。)



全国学力・学習状況調査の結果概要

4月18日に6年生を対象に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」における本校の結果分析と課題及び今後の取り組みについて以下のとおりお知らせします。この調査結果は学力や学習状況の一部であり、児童の学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。それを踏まえた上で、学校と家庭、地域が学力や学習状況に関する課題を共有し、更に連携を深めていくことを目的として、お知らせいたします。

結果の概要（1）教科に関する調査より

国語

○「漢字を文の中で正しく使うこと、送り仮名に注意して漢字を文の中で正しく使うこと」は比較的できています。

○「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える」「物語の全体像と関わらせながら表現の効果を考える」などの読む力は比較的できています。

▲記述式問題だけでなく、選択問題についても無答率が高いことから、文章をしっかりと読み最後まで粘り強く答えようとすることに課題が見られます。

▲「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心をとらえて話す」力に課題があります。

▲「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめて書く事に課題が見られます。」

【まとめ】

- ・国語科や総合的な学習等において、相手にインタビューやアンケートを行い、必要な情報を収集し、聞き取った内容をもとに自分の考えをまとめて発表するプレゼンテーション能力を育成していく必要がある。
- ・読んだことをもとにし、話し合ったり、教材文をもとに文章を書いたりするなどの言語活動を重視して指導していく。この活動で培った思考力、表現力は国語科にとどまらず、他教科や総合的な学習の時間、日常生活の中でも活用していくことが大切である。
- ・低学年から目的や意図に応じていろいろな方法で情報を集め、根拠を挙げながら自分の考えを整理して書けるようにすることが必要である。
- ・低学年から読み聞かせなどより多くの本にふれ、自ら興味を持って読み深められるように国語だけでなく、朝学習などで習慣をつける。

算数

○「伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること」変化と関係についての問題は比較的できています。

○「正方形の意味や性質について」については概ね理解できています。

▲「加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする」計算の順序に課題が見られます。

▲「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる」「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できる」など問題解決の方法を説明したり、記述したりする力に課題が見られます。

▲記述式問題だけでなく、選択式や短答式問題についても無回答率が多いことから、最初からわからない、できないと問題に取り組まないことに大きな課題があります。

【まとめ】

- ・基礎的な四則計算については、1年生から確実に定着するように繰り返し練習する。
- ・図形の性質や構成要素を正しく理解し、作図できるようにする。
- ・低学年から、なぜそう考えたのか答えに至るまでの過程や理由を、図や文等を使って説明する問題解決型の授業を多く取り入れて、身につけていく。
- ・日常生活から問題を考えたり、獲得した力を普通の生活に活用したりできるように指導していく。

教科の質問項目から

- ・「国語の勉強が好き」の割合は少し低い。
- ・「国語の勉強は大切だと思う」「国語の授業の内容がよくわかる」の割合は比較的高い。
- ・「算数の勉強が好き」の割合が低い。
- ・「算数の勉強は大切だと思う。」の割合は高い。
- ・「算数の授業の内容がよくわかる」の割合が少し低い。



国語より算数の学習に対して苦手意識が強いという結果でした。授業では、その学年の基礎基本をしっかりと身につけることが大切です。（いつかできるようになるから・・・ではなく、その学年で力をつけていきましょう。）

読み・書き・計算は繰り返し学習することで、着実に身につけ自信を持って、学習に向かう力となります。

